



注目イベント 4

地方政府等の輸入博前後の 経済交流イベント

11月5～10日まで開催された第3回中国国際輸入博覧会では、期間中に本年も国内各地から外資誘致イベントや経済フォーラムなどが輸入博会場や上海市内のホテルで開催された。しかしながら、厳格な新型コロナウイルス感染対策の中では、昨年、一昨年に比較するとその開催数も少なく、規模も若干小さなものになっていた。以下にいくつか紹介する。

(1) 中日(蘇州)地方発展協力模範エリア共同イノベーションフォーラム



11月5日、輸入博会場近くのホテルで開催された本フォーラムは、国家発展改革委員会が全国6カ所の日中協力のモデル区の一つとして指定した蘇州市の相城区が主催した。300名ほどを集めたかなり大規模なフォーラムの開会では、蘇州市人民政府の楊知評副市長、在上海日本国総領事館の福田高幹経済部長、みずほ銀行(中国)有限公司の石原至行長があいさつに立ち、相城区委副書記で区政府の季晶代区長が相城区の経済社会の発展状況などを説明した。

(2) 武漢市副市長と日系企業との懇談会



11月6日、虹橋空港の北にある阿納迪酒店で武漢市副市長との懇談会が開催された。日系企業の5社の総経理とJETRO武漢事務所、商工クラブからの参加と少人数での懇談会であった。1月下旬から武漢が封鎖された際には、JETRO武漢事務所が中心となって日本人駐在員の移動を支援し、その後の復工復産では、湖北省と武漢市が中心となって日系企業の駐在員の復帰に向けたチャーター便を運航するなど支援をいただいた。

(3) 日中ビジネスフォーラム



11月7日、輸入博会場内では商務部投資促進事務局が主催、JETRO上海事務所後援、中日デジタルビジネス協会協賛により、「中国市場における日本技術の新たなチャンス」をテーマに約80名が参加してフォーラムが開催された。日本側からは在上海日本国総領事館の福田高幹経済部長、JETRO北京事務所の高島竜佑所長、中国日本商会の小川良典会長があいさつをした。

(4) 中日(東莞)先進製造懇談会



11月7日、虹橋商務区のホテルで広東省東莞市と商務部投資促進事務局が共催して、昼食懇談会が開催された。東莞市は古くから日系製造業が多数進出している地区であり、電子部品や自動車部品の日系企業も多い。東莞市進出日系企業から東莞市の進出企業支援やサービスについてのプレゼンテーションがあり、東莞市人民政府の肖亞非市長からはその実績を強調するあいさつがあった。

その他

上記の他にも、湖北省黄冈市では当商工クラブなどの日系団体を訪れ、四川省成都市は花園飯店で説明会を開催、上海市奉賢区も交流会を開催している。